

神奈川 印刷ニュース

No.201

2017.秋

神奈川県印刷工業組合

〒220-0011 横浜市西区高島2-10-20

TEL 045-441-4223 FAX 045-453-2383

編集：総務組織委員会



Color for Life

<http://www.tokyoink.co.jp/>

オフセットインキ／グラビアインキ・機能性インキ
印刷関連資材／記録材料（トナー・インクジェットインク）
プラスチック用着色剤・機能剤
土木・環境資材／包装・産業資材



東京インキ株式会社
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

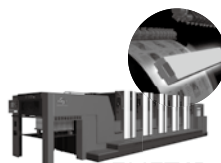
本社 〒114-0002 東京都北区王子1-12-4 TEL. 03-5902-7625

RMGT

ともに、世界へ彩りを。

パイオニアとしての実力。

LED-UV
PRINTING SYSTEM



RMGTは2008年から、
LED-UV印刷の市場を牽引しています。

RMGTが2008年に世界で初めて発売したLED-UV印刷システム。省電力の画期的なUV印刷システムとして革新を起こし、短納期・生産性向上・環境印刷によって、オフセット印刷の世界を様変わりさせました。発売から9年が経過した今、LED-UVの先駆者として蓄積したノウハウと技術力でRMGTはオフセット印刷に関わる、お客様の様々な課題にお応えしています。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

東日本支社 〒114-0003 東京都北区豊島5-2-8 TEL 03-3927-1031

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

FUJIFILM

Value from Innovation

人は、人生において無数の印刷物と出会い、学び、哀しみや苦しみを乗り越えていきます。一編の詩や小説、新聞や雑誌、教科書にも漫画にも、人を育てる深く大きな力がある。そしていつのときも、それらの印刷物を必ず誰かが心待ちにしてくれている。たった今も、子供も大人も。だから印刷は、どんな苦境の中でも負けるわけにはいきません。待っている人にとびきりの笑顔を、希望を届けなければなりません。印刷は負けない。FEGSも負けない。総力を挙げ、業界の皆さまと共に挑み、共に戦い続けてまいります。

負けない。

印刷は、

待っている人がいるから。



富士フイルムクロールグラフィックシステムズ株式会社 本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル 03(6419)0300 [ホームページ](http://fjgs.fujifilm.co.jp) <http://fjgs.fujifilm.co.jp>

四六半裁対応サーマルプレートセッター

MADIATH (マティアス)



VIOLET DIGIPLATE
VDP-CF3070



三菱製紙株式会社

ダイアミック株式会社

<http://diamic.jp> 東京都墨田区両国2丁目10番14号 両国シティコア

印刷感材営業部 ☎03(5600)1570 東京支社 ☎03(5600)1590



著作物の価値を活かし、 新たなビジネスチャンスを！

神奈川県印刷関連産業協議会理事
神奈川県印刷工業組合 副理事長 **江森 克治**

今年7月、国や地方自治体の中小企業との契約に関する平成29年度の方針が閣議決定され、その中に「印刷物等の著作権の価値を認めるように」との一文が入りました。これまで「著作権はすべて発注者に帰属する」「著作権は発注者に無償で譲渡する」などと契約書に明記されていましたが、私たちの大切な知的財産である著作権の価値を積極的に認めるようにとの方針が出されたことは、昨年より全印工連が中小印刷産業振興議員連盟との会合において申し入れを行ってきた成果であり、著作物を有償で販売するという新たなビジネスチャンスにつながる出来事です。

では、具体的にどのようなケースが想定されるか考えてみましょう。

■ケース① デザインから印刷までを受注した案件において、1ヶ月後にまったく同じデータで増刷をする場合

従来であれば著作権は発注者である自治体に帰属しているため、その著作物をどのように使おうが自治体の自由です。印刷データの所有権については別の権利ではありますが、著作権を譲渡してしまっている以上、印刷データの受け渡しを求められれば拒否するのは難しいと言えます。今後は印刷会社側に著作権があるので、増刷には著作者である印刷会社の許可が必要になります。仮に改めて増刷部分だけの入札が行われて他社で印刷することになったとしても、デザインの2次使用料を自治体に請求することができます。

■ケース② オリジナルのイラストや写真を、ホームページや他の広報物など、他媒体に使用する場合

こちらも従来は自治体が自由に他媒体に転用することができましたが、今後は転用する媒体の種類や印刷物の部数、有料で販売される場合はその価格等、予め協議された条件に基づいて2次使用料を請求することができます。また著作権が印刷会社側に留保されているので、自治体側と協議の上でそのイラスト（例えばキャラクターなど）を使った商品を開発して販売することもできます。

このように印刷物の価値に加えて、その内容（コンテンツ）が魅力的で、「もう一度使いたい!」と思ってもらえるようなものを生み出していくことは、今後の印刷会社のビジネス展開においてとても大切な要素のひとつになってくると考えられます。

しかしながら、今回はあくまで「方針」が出されたにすぎず、方針だけでこれまでの商習慣がすべて変わるわけではありません。印刷産業の新たなビジネス領域を創造していくためには、私たちが自分自身の仕事の価値を認識し、またその価値を高める努力をし、さらにそのことを広く社会に、お客様に伝えていく活動をしなければなりません。印刷工業組合は、これからも私たちのビジネスを拡大するための活動をしてまいります。皆さまの一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

CONTENTS

巻頭言 副理事長 江森克治……………1	「全印工連 2025 計画リテラシーセミナー誌上採録」…8
「9月印刷の月」杉山理事長、印刷振興賞受賞…2	組合員企業によるCSR（地域活動）取り組み事例紹介…10
印産協4団体コラボコラム……………4	横浜サンタプロジェクト2017 ご案内 ……11
全国印刷緑友会60周年記念大会 ……6	第11回メディアユニバーサルデザインコンペ作品募集…12
P I S M 4社を認定 ……7	事務局日誌……………13

今
号
の
紙
表

■有限会社 片野印刷（相模原市）

1957年（昭和32年）創業。今年1月、先代社長の急逝により、長女の染谷綾子現社長へ事業承継。ご家族で協力し合い地域に密着したサービスで、多くの地元のお客様に満足頂ける印刷物を届けています。

恒例 日印産連「9月印刷の月」、今年も盛大に

＝ 神奈川工組杉山昌行理事長が日印産連表彰印刷振興賞を受賞 ＝

神奈川県印刷工業組合

大手・中堅系印刷会社の全国団体である印刷工業会、最多数の中小印刷会社を擁する全印工連をはじめとする印刷業界 10 団体で構成されている一般社団法人日本印刷産業連合会（日印産連）が毎年開催している「印刷の月」の諸行事が、今年も活発盛大に展開されました。



これは、日印産連が、9月を「印刷の月」と定め、会員団体／企業と共に協力し「一般社会の印刷産業への認識を深め、理解の促進を図ること」を目的に掲げ、各種の周知・PRを行おうと開催している印刷業界最大のイベントで、わが国活版印刷の先駆者である本木昌造氏をしのび、全印工連が中心となって開催してきた各種の行事を、日印産連が設立されたことを契機に拡大発展することで、日印産連 10 団体を中心とする印刷業に携わる人々の統一行事となってきているものです。



統一行事のハイライトである記念式典は、平成

29年9月13日（水）、ホテルニューオータニに600名を集めて開催されました。

式典では、長年にわたり印刷産業の発展に貢献された役員経験者に対する印刷功労賞・印刷振興賞、および顕著な活動を顕彰する特別賞を贈る日印産連表彰が行われました。

印刷功労賞は、印刷工業会と全印工連が2名づつ、あとの8団体それぞれ1名づつの18名に贈られ、印刷振興賞は、印刷工業会4名、全印工連3名、フォーム工連・ジャグラー・全日本製本が2名づつ、後の5団体がそれぞれ1名、の計18名に贈られましたが、当組合杉山昌行理事長が、全印工連傘下の山口工組藤田良郎理事長、奈良工組中西知前理事長と共に印刷振興賞受賞の栄に浴しました。



当組合としては、平成24年川上彰久前理事長の印刷振興賞、平成28年（株）大川印刷の特別賞に続く受賞です。

構成10団体の概要は次の通りです。

■印刷工業会

大手および中堅印刷会社等で組織する団体で、加盟会社の出荷品は出版印刷・教科書印刷・商業印刷・証券・紙器・軟包材・建材・エレクトロニクス部品および情報関連等、多岐に亘っている。

設立：昭和27年2月 会員：93社

会長：山田雅義（大日本印刷（株）副社長）
所在地：〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8

■全日本印刷工業組合連合会

一般印刷業の中小印刷会社で組織する全国団体で、出荷品は出版・商業・事務用など多様な印刷物を手がけ、会員 10 団体の中で最も加盟会社が多い。

設立：昭和 30 年 9 月 会員：47 都道府県印刷工業組合（加盟会社数＝4,750 社）

会長：臼田真人（（株）アドピア社長）

所在地：〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8

■日本フォーム印刷工業連合会

コンピュータの入出力に関連する諸帳票および応用製品を製造販売する印刷会社で組織している全国団体である。

設立：昭和 40 年 7 月 会員：7 工業会（加盟会社数＝114 社）

会長：小谷達雄（（株）イセトー会長）

所在地：〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8
一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

■（ジャグラ）

文字・画像を主体とする印刷物を生産する印刷業・製版業の全国団体。グラフィックサービスの特性を生かした印刷物を手がけている。

設立：昭和 41 年 7 月 会員：880 社（41 都道府県に支部あり）

会長：中村耀（あきら）（NS印刷製本（株）会長）

所在地：〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16

■全日本製本工業組合連合会

製本業の全国団体として、印刷後加工の書籍・雑誌・事務用品類製本等を出荷する製本会社によって組織されている。

設立：昭和 47 年 4 月 会員：11 工業組合（加盟会社数＝775 社）

会長：大野亮裕（（有）協和製本 代表取締役）

所在地：〒173-0012 東京都板橋区大和町 28-11

■日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会（GCJ）

グラフィックコミュニケーションズ（印刷物の前工程全般の制作もしくは印刷原版制作をする製版業、またはDTP技法を用いて、主に情報伝達を目的とした各種媒体・コンテンツの制作業）の中小企業者の全国団体。

設立：昭和 41 年 6 月（旧日本写真製版工業組合連合会） 会員：8 工業組合（加盟会社数＝190 社）

会長：田村壽孝（（株）東京ニュース社長）

所在地：〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-10-11

■全日本シール印刷協同組合連合会

シール印刷業の全国団体として、表示・封緘・販促・接着等、各用途のシール・ラベル印刷物を出荷する印刷会社によって組織されている。

設立：昭和 36 年 5 月 会員：10 協同組合（加盟会社数＝550 社）

会長：田中祐（山王テクノーツ（株）代表取締役）

所在地：〒192-0032 東京都八王子市石川町 737

■全国グラビア協同組合連合会

グラビア印刷業の全国団体として、主として軟包装資材印刷加工物等を出荷するグラビアを主力とする印刷会社によって組織されている。

設立：昭和 46 年 1 月 会員：8 協同組合（加盟会社数＝159 社）

会長：田口薫（大日本パッケージ（株）社長）

所在地：〒130-0002 東京都墨田区業平 1-21-9
あさひ墨田ビル 2F

印産協 4 団体誌上コラボコラム

神奈川県印刷関連産業協議会 情報委員会

■紙友会

<オリンピックに向けて>

2020年の東京オリンピック需要のとりこみに向けて、製紙メーカー、代理店、卸商ともに動きが加速しています。特にオリンピック関連の紙にはFSC森林認証紙の使用頻度が高いということで各社が現状の規格品にFSC森林認証を付加させてきています。

また、特殊紙においては需要の伸びているパッケージ関連商品、例えば箱等に貼り込む薄紙の特殊紙やそのままパッケージ品にできる厚紙の新製品にもFSC森林認証紙を採用した新商品が発表されています。

その特殊紙の中でも平和紙業さんオリジナルの7月に発売された「ICHIMATSU」はオリンピックのロゴにも採用された日本の伝統的な市松模様を紙上で幾何学的に表現したエンボスのコントラストが綺麗な商品です。是非、一度ご覧下さい。

商品名 ICHIMATSU (FSC森林認証紙)

規格 四六判Y目 (1091 × 788mm)

70kg、95kg、175kg

色 ホワイト、オフホワイト、ナチュラル、ライトオーカー
ソリッドグレー、グラスグリーン、マンゴーオレンジ
サンライズレッド、マゼランブルー、ビターブラウン
クリアブラック (全11色)

用途 カード、商品タグ、貼箱、ラベル、ステーションリー
見返し、カバー等

ご興味のある方は横浜紙友会のメンバーにお問い合わせください。



■製本組合

♥♥♥立体加工、大募集♥♥♥

大貧乏神 - - ここんとこ、ちっとも製本屋に仕事が入ってこないから、製本屋からの呼びがかかって貧乏暇無しよ！先月俺のお客のところに印刷屋から洋形2号の手紙が着て、御祝かと開いたら廃業のおしらせ。手紙が来る1週間前にそこから見積の依頼があったのって腹たててた。俺、益々太る一方だ！

天使 - - 製本屋さん大変ね。それでも若い人たちは研修会や機材屋さんに見学に行って勉強してみたい。まずは現状を十分に把握するために、みんな集まって印刷物を減らすにはどうすればいいかって話し合ったんだって。そうしたらスマホが一番だって。

スマホちゃん - - でしょ、でしょ。あたしにまかせなさいよ。去年までは吉野家は印刷物でクーポンを配っていたんだけど、今はあたしでピィよ。手紙も写真もスケジュールも全てあたしで出来るんだから。全ての人があたしを持ったら印刷物はかなり減るわね。商品の説明書はパッケージにQRコードを印刷すれば、あたしの画面で小さい文字を大きくして読めるしね。学校でもあたしの仲間の**タブレット君**が子供達みんなに配られるようよ。教科書が減ればランドセルも小さくなるし。

大貧乏神 - - そうなると、俺大忙しだ！

天使 - - だから製本屋さんは自社で製品を作って、ネット販売しているところが出て来たそうよ。それとこの間、**ウチダテクノ**に見学に行ったらパンフレットや容れ物までゼロックスのプリンターで自社で印刷して製作していたのを見たそうよ。これからはただ綴じるだけではなく、レーザーやカッティングマシンで変わった加工が出来たり、立体的な製品が出来る技術が求められるみたい。いままでの2Dから3D加工の製本屋に変身するみたいね。

■ジャグラ

<ジャグラ神奈川への参加が、何らかのヒントに>

近年、アマゾンジャパンの売り上げが一兆円に迫り、デパートの高島屋を抜いた。原油は1バレル\$43（6月）セルフのガソリンスタンドは119円/1ℓ。日経平均は21,300円前後で推移。アベノミクスの新三本の矢は、一握りの上場企業には、追い風になっている。

さて、我が印刷業界は、相変わらずの右肩下がりである。それでも、紙媒体は「一番安価で、最も信頼のおける情報伝達ツールである」として生き残っている。さらにアメリカでは、電子書籍からの紙の本への回帰が起こっていると聞く。すこし安心する話ではある。ここで、名簿を扱っている会員には、とても重要なお知らせがある。平成29年5月30日より個人情報保護法に一部改正が行われた。これまでは保有する個人情報が5000件以下の事業者は個人情報保護法の適用外とされていたが、此度の法改正により個人情報保護法の対象となった。

このような社会情勢の中、テレビで有名な印刷通販事業者は、2007年に7億円の売り上げであったが、2016年3月期の売り上げは、238億円。10年で約34倍である。

この間、私たちは何をしていたのであろう。会員は、決して手を拱いていたわけではない。それぞれの会社が、できる事を毎日行っていた。しかし10年後の結果は、異なっている。この現状を踏まえ、私たちジャグラ神奈川は、もう一度「自社の立ち位置を直視し、近い将来の目標を定め、しっかりとした足どりで日々を改善する」必要がある。それには、ジャグラの行事への参加が何らかのヒントに成り得ると確信する。

■印刷組合

<脳のリミッターと応援>

人には普段使っていない潜在能力が眠っており、そのリミッターを外すことで、驚くべき能力を発揮します。

しかし、人が普段出している能力は本来の能力の一部であり、100%を出すことはできないようになっています。人体では筋肉が持つ力を全て使った場合、人体そのものが耐えられなくなり、これを防ぐために脳がリミッターとして働いています。日常生活で脳のリミッターを働かせず、筋力をフルパワーで動かすと、筋断裂（肉離れ）や骨折を繰り返すことになってしまいます。仮にリミッターが外れた場合は、誰もが憧れるドラゴンボールやキン肉マンの「スーパーサイヤ人」「火事場のクソ力」のようにビックリするような力を発揮するでしょう。

勉強や仕事で、「もういいや」、「もう限界」、「もう無理」などに直面したことはないでしょうか。この場面では何を防ぐために脳のリミッターが効いているのでしょうか。それは、「解放」、「応援」、「ヘルプ」などを欲しまたは必要としている場面なのです。しかし、成長にも成功にも成果にも「鼓舞する」、「律する」などの自己応援をし、脳のリミッターを外して能力を発揮することも可能です。

「ハングリー精神」でリミッターを外すこともあります。ハングリー精神とは、忍耐力や持続力では無く「自分の想像を超えた分量や内容を徹底してやり込める気持ち」なのかも知れません。餓えは覚醒状態を創りだし、集中力を発揮します。これは生物界では当然のことであり、のんびりしていると餓死することになってしまいます。反対に満腹では心身共にリラックスしてしまい集中力は低下します。

人は大人になるにつれてリミッターがどんどん増えていきます。言い訳や不安といったものを振り払って、気持ちで負けないように生きて行くのは大変なことです。一流アスリート達は別格なのでしょうが、日々を全力でプレーし、練習でも全力を出すということは大事です。そのためにはリミッター解除をしなければいけません。プレーキを意識しながらアクセルを踏み抜くことはとても難しいのです。しかし、私たちの周りには多くの「応援」があります。その「応援」に気付く活用することがリミッター解除に繋がっているのかも知れません。

全国印刷緑友会 60 周年記念大会

世代を超えて 412 名が交流

神奈川正和会

全国印刷緑友会は、全国の意欲的な青年印刷人の有志グループが相互の緊密な連繋と交流を通じて、一個の人間として研鑽陶冶に努め、印刷産業の発展向上に寄与することを目的とする有志の会です。大会やセミナーでは経営研究・技術研究などに関する講演会、座談会、見学会などを実施し、あわせて会員相互の親睦を深め、交流および情報の交換をしています。印刷産業人の有志グループ単位をもって構成される各グループの会員は、全員緑友の仲間です。現在、神奈川県としては神奈川正和会が加入グループとして活動を行っています。



この度、2017年9月2日、東京の東京ドームホテル会場において、全国印刷緑友会六十周年大会が開催されました。主管は在京の仲間である印刷同友会、神奈川正和会、東京都印刷工業組合若竹会、千代田印刷人新世会の4団体。今大会を「緑友フェス」として掲げ、大会の場で一人でも多くの仲間と繋がり、研鑽し新睦が深められる「きっかけ」に活用頂くことを目的とし、1年4ヶ月前より、4団体で会を超えた交流と協議を幾度も重ね、当日を迎えました。北は札幌の札幌青年印刷人の会から南は沖縄の沖縄県印刷若潮会まで46団体が全国から集まり、広告協賛団体も含めると総勢で412名の参加となりました。

大会はオープニングに江戸時代より続いている伝統技芸の木遣りを行い、神奈川正和会池下栄一

郎君（池下製本）の開会宣言で始まりました。式典では神奈川県印刷工業組合の杉山理事長に来賓挨拶を頂きました。また記念講演にはシドニー五輪柔道銀メダリスト篠原真一氏による、現役時代から監督時代の裏話まで幅広く講演を行って頂きました。



記念式典と懇親会の間では、宮本荒樹君（シュープリント）が主体となってスペシャル企画を行い、各団体の代表者より今まで体験したロックなエピソードを参加者の皆さんへ発表して頂き、団体の垣根を越えて親交を深めました。

懇親会は神奈川正和会が主管となり、企画、運営を行い、全国からお越し頂いた方々へおもてなしを行いました。DJブースを用意して尼野大介君（アマノ印刷）がBGMでフェス感を演出し、全員でのダンスは大いに盛り上がりました。最後は神奈川正和会 会長 石澤勝君（メディアライン）が閉会挨拶を行い、大会全日程を終了致しました。



P I S M 4社を認定

経営革新マーケティング委員会

神奈川県印刷工業組合が、横浜市立大学CSRセンターの指導と与信を受けて作り上げた独自の情報セキュリティマネジメントシステム(PISM)は、平成25年に2社、平成28年に3社を認定しましたが、平成29年8月25日、PISM審査委員会を開催し、更新申請1社および新規申請3社の計4社について審査を行いました。

審査委員会は、横浜市立大学CSRセンター長の影山摩子弥教授を委員長とし、当組合森島雅弘経営革新マーケティング委員長および2名の外部委員によって構成されています。担当評価員による詳細な評価報告を受け、厳正な審査により、下記の4社の認定を決定しました。

①審査対象 (株)協進印刷 (更新) 評価員 金子賢一氏

審査委員 影山審査委員長
森島経営革新マーケティング委員長
産業クラスター研究会 阿部昭彦氏
産業クラスター研究会 廣田勝彦氏
産業クラスター研究会 樋谷祐一氏

②審査対象 関東プリンテック(株) 評価員 樋谷祐一氏

審査委員 影山審査委員長
森島経営革新マーケティング委員長
産業クラスター研究会 阿部昭彦氏
産業クラスター研究会 廣田勝彦氏

③審査対象 三昇堂印刷(株) 評価員 廣田勝彦氏

審査委員 影山審査委員長
森島経営革新マーケティング委員長
産業クラスター研究会 阿部昭彦氏
産業クラスター研究会 金子賢一氏

④審査対象 (株)トーカイ 評価員 金子賢一氏

審査委員 影山審査委員長
森島経営革新マーケティング委員長
産業クラスター研究会 阿部昭彦氏
産業クラスター研究会 樋谷祐一氏

これにより、別表のとおり、認定企業は8社(うち1社は未更新)となり、徐々にではありますが、情報セキュリティの重要性認識が浸透しつつあることが手応えもって感じられるようになっていきます。

昨年認定された3社からは、認定後1年目の報告書が提出され、いずれも順調着実な運用がなされていることが確認されました。この8社につづいて、現在取り組み中の組合員が2社、取り組みを開始した組合員が1社、取り組みの申し込みがあった組合員が2社、取り組み開始見込みの組合員が1社、あります。

懸案であったPISMの普及拡大がかたちになりつつあるのは、認定NPO法人産業クラスター研究会のメンバー(阿部昭彦氏 金子賢一氏 廣田勝彦氏 樋谷祐一氏)による、懇切丁寧で機微に触れた献身的なサポートによるところが大きく、会社規模の大小や従業員の数にかかわらず取り組みやすい条件が具備されていることを改めてご認識いただければと思います。

神奈川県印刷工業組合

P I S M

情報セキュリティマネジメントシステム

認定企業一覧

(平成29年8月現在)

①認定番号 K P 2 4 - 1
認定日 平成25年3月11日 (未更新)
認定事業者 (株)アクロス (湘南)
所在地 神奈川県平塚市西八幡4-4-12-F

③認定番号 K P 2 8 - 3
認定日 平成28年7月26日 3年間有効
認定事業者 山協印刷(株) (湘南)
所在地 神奈川県平塚市大神3156

⑤認定番号 K P 2 8 - 5
認定日 平成28年7月26日 3年間有効
認定事業者 (有)森島印刷所 (横浜中央)
所在地 神奈川県横浜市中村町4-271-14

⑦認定番号 K P 2 9 - 7
認定日 平成29年8月25日 3年間有効
認定事業者 三昇堂印刷(株) (横浜横須賀)
所在地 神奈川県横浜市中区宮元町3-51

②認定番号 K P 2 4 - 2
認定日 平成29年3月11日 3年間有効
認定事業者 (株)協進印刷 (横浜北)
所在地 神奈川県横浜市神奈川区大口仲町108

④認定番号 K P 2 8 - 4
認定日 平成28年7月26日 3年間有効
認定事業者 (株)大川印刷 (横浜横須賀)
所在地 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町2053

⑥認定番号 K P 2 9 - 6
認定日 平成29年8月25日 3年間有効
認定事業者 関東プリンテック(株) (横浜横須賀)
所在地 神奈川県横浜市福浦1-12-10

⑧認定番号 K P 2 9 - 8
認定日 平成29年8月25日 3年間有効
認定事業者 (株)トーカイ (湘南)
所在地 神奈川県藤沢市遠藤2021-18

— 29.1.23 開催「全印工連 2025 計画」リテラシーセミナー —

(江森克治氏講演 誌上再録③) 神奈川県印刷工業組合

— 『全印工連 2025 計画』の読み方使い方③—

全印工連発表の新成長戦略『全印工連 2025 計画 新しい印刷産業へのリ・デザイン』を当組合が開いたセミナー「あらためて印刷産業の今後を見定める—『全印工連 2025 計画』の読み方使い方」から、講師の江森克治氏(全印工連・産業戦略デザイン室副委員長)の講演のポイント最終回を紹介する。〈出展 印刷新報〉

外に発信してこそ活きる 戦略的行動を各社で

◆社会課題の解決業としての期待に応える

2025 計画で取り上げた 5 つの分野のうち、環境コラボレーション計画では、グリーンプリンティング認定制度の普及と活用を目標にしています。印刷会社と印刷バイヤーが、それぞれに「できない」理由を押し付けあっているために環境対策は遅々として進みません。互いに努力することが必要であり、現状打開のために印刷業界がリーダーシップを発揮しようというものです。

印刷業界の実態調査を見ても、環境対策ができていない企業、あるいは、そもそも課題を認識していない企業がまだまだ多い。胆管がん問題もそうでしたが、1 社の行いによって業界全体が同じようにマイナスに受け取られてしまいます。ですから、隣の会社が間違っていたら注意すべきですし、業界としてもっと告知をしていく必要があります。

地方創生産業クラスター計画では、大分県別府市、高松市丸亀町、仙台印刷工業団地協同組合、Japan ebooks の 4 つの事例を取り上げました。以前、全印工連が全国各地で「ステークホルダー・ダイアログ」という発注者の本音を聞く企画を実施したことがあります。そこで出てきたのは、地域にいろいろなつながりを持つ印刷会社に「地域のまとめ役」としての活躍を望む声でした。今までは、市場のニーズや地域の課題に対して、印刷会社、行政、企業、学校などが個別にアプローチする形でしたが、これからの時代は連携してアプローチするオープンイノベーションが求められます。その核となる「越境リーダー」を印

日々進化する紙、残していきたい新たな一枚。

紙



株式会社 吉本洋紙店 厚木支店

〒243-0807 神奈川県厚木市金田1017
TEL.046-223-6931 FAX.046-223-6930

本社 〒104-0041 東京都中央区新富2-7-4 TEL.03-3551-4141 (代表)

刷業界からたくさん輩出するべきだと考えます。

女性活躍推進計画は、政府も非常に力を入れている課題です。2060年には65歳以上の高齢者率が40%に達します。企業にとって人材採用はますます難しくなっていきます。そうした時代に、家事・育児・介護は女性が行うものであるという固定的役割意識が残っていると、男性に比べてより負担の大きい女性は仕事などできません。多様な働き方ができる人事制度を作り、生活環境が変化しても安心して働ける会社にする取組みが欠かせません。フルタイムを前提とした雇用制度も変えていく必要があります。計画の中では、転職があることを前提としたキャリアプラン形成、介護休業制度の整備、テレワークや時短勤務への対応、ワークシェアリングの推進、副業禁止規程の見直しなどを2025年に向けた課題として認識しています。

ダイバーシティ計画、すなわち人材の多様化への対応は次世代のキーワードです。欧米ではすでに重要な人事経営戦略となっていますが、日本でも欠かせない経営要素になります。2016年4月に障害者差別解消法が施行されました。全印工連はMUD（メディア・ユニバーサルデザイン）の取組みを推進してきましたが、MUDをさらに進化させ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ダイバーシティ実現に不可欠な「情報保障」、すなわち、すべての人の知る権利を保障する取組みを進めます。印刷業が「情報保障」の担い手であるという認識を広く社会に定着させる計画です。

CSR人づくり計画では、東京都品川区、横浜市、さいたま市、宇都宮市の4つの自治体の事例などを通じて、CSRで企業と地域が一体となる成長戦略を提言しました。全印工連は印刷業独自のCSR認定制度を運用していますが、自治体でもCSR認定制度が広がっています。横浜市は394社、宇都宮市は131社、さいたま市は66社の認定企業があり、千葉や静岡でも始まっています。自治体も、単に発注価格が安いというだけでなく、「いい会社」とパートナーとなった方が、結果として得であると気づき、そうした企業を大切にす政策に転換し始めています。

このように、2025計画に書いてある内容はすべて社会課題であり、行政も企業も地域も困っていることです。2025計画は外部に発信してこそ価値があり、戦略的活用法はいろいろあります。たとえば、地域CSR認定制度の創設の提案、地元金融機関に対して経営革新を推進する企業への金融商品の開発提案などが考えられます。

印刷産業が、これからも日本の経済と文化を支える産業として、もっと大きな「印刷産業」に生まれ変わるために、2025計画が大いに活用されることを願っています。みなさんも、ぜひ自分の足下から戦略的な行動を起こしてください。

KOMORI 高品位フルカラーデジタル印刷機
Impremia C Series インプレミアCシリーズ

その仕事、KOMORIのPODにお任せください！
POD特設サイトにてラインアップ・活用事例を紹介中▶

株式会社 小森コーポレーション
〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806

＝ 組合員企業による CSR (地域活動) 取り組み事例 ＝

株式会社大川印刷

日本初！4カ国語対応 多言語版「わたしのおくすり手帳」

●株式会社大川印刷がおくすり手帳に関わったきっかけ

インターンシップ生が高齢者向けおくすり手帳に取り組んだことがきっかけとなり、次のインターンシップ生が多言語化に取り組み、多言語版おくすり手帳が弊社の事業のひとつになりました。

●NPO と地元企業の協働

しばらく社内で模索しているときにインターンシップ生がお世話になった NPO 共生のまちづくりネットワークよこはま¹⁾の代表 小池由美様から連絡を頂きました。協働事業として行うために確認書を2015年12月に交わし、月1回の会議を重ね、多言語版おくすり手帳のブラッシュアップを行いました。

外国人の多くは言葉の壁から十分な医療を受けることや災害情報を得ることが困難な状況にあります。この問題の解決手段の一つとして、多言語版おくすり手帳がコミュニケーションツールのひとつにしてもらうために、翻訳者がおくすり手帳の内容を理解するための文章を作り、そこからネイティブな文章で翻訳をしてもらいました。できるだけ全ての外国人が理解できるようにやさしい日本語²⁾を採用し、出来上がった多言語版おくすり手帳(やさしい日本語、英語、中国語、韓国語)はNPOや国際交流ラウンジの職員、日本語教室に通っている外国人など約150名の方にモニタリングをしてもらいました。

2017年4月からはジャパンハウジング株式会社³⁾も協働することになり、「多言語版おくすり手帳普及プロジェクト」を立ち上げました。

●多言語版「わたしのおくすり手帳」完成

協賛企業広告や個人からの寄付、そしてパルシステム神奈川ゆめコープ2016年度市民活動支援プログラムで助成金を得て、1年を超える期間を経て2017年6月に多言語版「わたしのおくすり手帳」が完成しました。



●1冊75円、5,000冊のうち初年度3,000冊の販売・配布目標

今年7月にプレスリリースを行い、日本経済新聞(平成29年8月5日朝刊)、毎日新聞(平成29年8月13日朝刊)、読売新聞(平成29年8月22日朝刊)、東京新聞(平成29年9月10日朝刊)4紙に「わたしのおくすり手帳」の記事を掲載して頂きました。

おかげさまで神奈川県以外の地域からお問い合わせやお買上げ頂いています。今後はスペイン語を含む第2弾を計画しており、日本人・外国人区別なく医療サービスが受けられるよう努力してまいります。

購入ご案内：<https://www.facebook.com/1784784988486812/>



1) 多文化共生のまちづくりを目指す市民団体

2) 簡易な表現を用いる、文の構造を簡単にする、漢字にふりがなを振るなどして、日本語に不慣れな外国人にも伝わりやすくした日本語

3) 外国人専門にコンシェルジュサービスを行う不動産会社

「横浜サンタプロジェクト2017」のご案内

12月9日(土) パシフィコ横浜円形広場にて開催

横浜サンタプロジェクトは、企業や学生を中心に、横浜の皆さんが毎年12月の第2土曜日にサンタとなって笑顔をプレゼントするプロジェクトです。

活動は、主に児童福祉施設への訪問、みなとみらい地区の清掃、パシフィコ横浜円形広場でのイベント開催となります。



毎年、サンタの人数が増え、去年は830名を超える皆さんにお集まりいただきました。

9回目を迎える今回は、施設の子もたちと企業がタッグを組んで一緒に企画し、地域に笑顔をお届けしようという新たな試みを始めています。

横浜サンタプロジェクトは、これまでの笑顔をお届けする側と受け取る側といった立場を超えて、プロジェクトに関わった皆さんと一緒に笑顔になる活動に変わりつつあります。組合の皆さんも横浜サンタプロジェクトで笑顔の輪に加わってみませんか。

横浜サンタプロジェクト実行委員会
実行委員長 阿部 寿和 (野毛印刷社)

🎁 サンタ(参加者) 募集

イベント当日にサンタの格好をして、みなとみらい地区を清掃する「清掃サンタ」の参加者を募集しています。企業での参加はもちろん、個人での参加も大歓迎です。

11月以降に公式ホームページ (<http://santa.yokohama/>)にて募集いたします。



🎁 プレゼント協賛のお願い

施設訪問や広場イベントで子どもたちに渡すプレゼントのご提供をお願いします。

同じ施設の子どもたちには同一のプレゼントを渡したいので、なるべく同じ物をご用意いただけると幸いです。(目標 300袋)

※玩具や文具などのノベルティ、クリアファイル、ノート、メモ帳など(中古品は除く)。

(送付先) 〒220-0011 横浜市西区高島2-10-20 印刷会館3階
神奈川県印刷工業組合 TEL: 045-441-4223
12月4日(月)までの月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

🎁 その他、参加や協賛のお問合せ先

横浜サンタプロジェクト実行委員会事務局 (NPO アクションポート横浜内)
E-mail: santa@actionport-yokohama.org



第11回 メディア・ユニバーサルデザインコンペティション

開催趣旨

各産業界および個々の企業の社会的責任が重要視されている現在、印刷業においてもその責務を果たすためのコンプライアンス活動が求められています。全日本印刷工業組合連合会ではそれを踏まえて、すべての人に優しく、誰もが快適に利用できることを目的としたユニバーサルデザインの考え方に準じ、デザインや文字など、より多くの人に伝わる情報を提供する「メディア・ユニバーサルデザイン (MUD) 活動」に、取り組んでいます。

この取り組みをより強固なものとするために、一般社会に対してMUD活動の意義と必要性を広くアピールし、印刷業界においては印刷技術の向上に貢献することを目指して、本年も「第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催します。

今回も一般の方だけではなく、高齢者・障がい者や子ども、外国人などすべての人に対して優しいデザインの実現を目的とする、斬新なアイデアに富んだ作品を募集します。

応募期間

2017年 8月1日(火)～10月31日(火) [当日消印有効]

募集作品

グラフィックデザインのもの

(例) ・カレンダー ・地図 ・パンフレット ・サイン ・パッケージ ・チラシ
・ポスター ・ラベル ・カードゲームなど

※既成の作品の改善提案の場合は、知的財産権への抵触にご注意ください。

※特に既成の自社作品について、MUDに配慮し再制作した“before and after”の作品を広く募ります。

応募資格

一般の部 プロ・アマを問わず、どなたでもご応募いただけます。

学生の部 大学・短期大学・専門学校・高等学校に在籍している学生・生徒。

応募対象作品

2016年7月以降に制作されたものとします。

応募方法

作品1点とデータ1点(CD-Rにai/eps/jpeg/pdfいずれかの形式でアウトライン化して保存したもの)を、出品申込書とともにお送りください。

※入選作品に選ばれた場合、ご提出いただいたデータをもとに受賞作品集の制作を行います。

出品料

一般：3,000円(応募作品1点につき) 学生：無料

※2017年10月31日(火)までにお振込願います。

振込先

口座名義：全日本印刷工業組合連合会

三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 当座預金 9007457

みずほ銀行 京橋支店 当座預金 0114231

りそな銀行 東京中央支店 当座預金 1362911

商工組合中央金庫 本店 当座預金 2021935

※恐れ入りますが、振込手数料はご負担願います。

授与賞

◆一般の部

- ・経済産業大臣賞(申請中)：表彰状、賞金 100,000円
- ・優秀賞：表彰状、賞金 50,000円
- ・佳作：表彰状、賞金 10,000円

◆学生の部

- ・経済産業大臣賞(申請中)：表彰状、図書カード 30,000円分
- ・優秀賞：表彰状、図書カード 10,000円分
- ・佳作：表彰状、図書カード 3,000円分

作品応募先

〒166-8539東京都杉並区和田 1-29-11
公益社団法人 日本印刷技術協会内
「第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」係
TEL：03-3384-3111 FAX：03-3384-3481

お問い合わせ先

〒104-0041東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館 4F
全日本印刷工業組合連合会
「第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」係
TEL：03-3552-4571 FAX：03-3552-7727

事務局日誌

8月 1日	環境労務委員会	組合会議室
8月 3日	教育研修委員会	組合会議室
8月 4日	印産協 合同委員会・理事会	かながわ労働プラザ
8月17日	常務理事会	組合会議室
8月25日	P I S M審査委員会	組合会議室
9月14日	三役会	組合会議室
9月20日	支部長会	組合会議室
9月21日	理事会	ヨコハマジャスト
9月29日	端末危機対策セミナー	ヨコハマプラザホテル
10月2日	メディア・ユニバーサルデザイン普及促進セミナー	ヨコハマプラザホテル

組合員の動き

脱 退 横浜北支部 (株)D-サイト

平成29年10月31日現在 186社

謹んでお悔やみ申し上げます。

計
報

横浜中央支部 中矢 博様 89歳 平成29年8月13日逝去 (株)なにわ印刷 社長ご尊父 (組合 相談役)



MOTOYA

豊富なラインナップのモトヤ書体が使用可能！
これからリリースされる新書体も
年会費だけですべて使用可能です。

LET'S
LEADING EDGE TYPE SOLUTION

お問い合わせは
045-322-3371へ

モトヤ LET'S

モトヤイメージキャラ 琴音 愛 株式会社 **モトヤ 横浜支社** 〒221-0841 横浜市神奈川区松本町 3-21-15
<http://www.motoya.co.jp>

SCREEN

ACHIEVE THE EXTRAORDINARY IN PRINT

SCREENは、印刷のあたりまえを変えていく最新のソリューションをご提案します。
高品質を実現する「EQUIOS ART」、優れた操作性を担う「EQUIOS UX」からなるソリューションプラットフォーム「EQUIOS」。
当社の技術コンセプト「SCREEN GPI3」の下で開発された技術群を統合し、司令塔として各種デバイスをコントロール。
「インダストリー4.0」時代を切り拓く、高品質かつスキルレスな生産環境をご提供します。

株式会社 メディアテクノロジー ジャパン

本社/03(5621)8266(代) 〒135-0044 東京都江東区越中島1-1-1 ヤマトネ深川1号館1階 www.mtjn.co.jp

印刷関連業様向けイベント

 **大塚商会**
http://www.otsuka-shokai.co.jp/

今年のPOINTは大塚商会だからできる印刷会社様をまるごとコンシェルジュ!

セミナー計17本決定!!

入場
無料

POINT

大塚 POINT2017

検索

13:00~20:00
10/12
(木)

10:00~18:00
10/13
(金)

初日は夜8時まで開催!お仕事帰りにぜひ!

イベント会場

秋葉原UDX 東京都千代田区外神田4-14-1
秋葉原駅 電気街口(北側)から徒歩約3分

12日13:00(受付12:50)~20:00(最終受付19:30)
13日10:00(受付09:50)~18:00(最終受付17:30)

セミナー会場

秋葉原コンベンションホール
5F カンファレンスフロア
東京都千代田区外神田1-18-13

営業本部 エリア部門 **POD推進部 03-3514-7625**

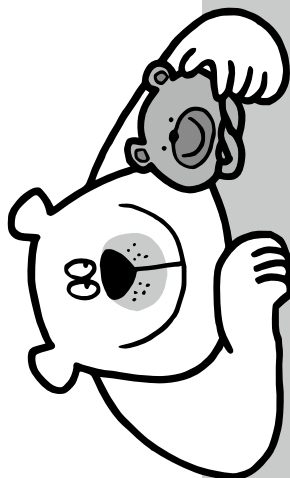
立ちどまらない保険。

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保

AD TOUGH

タフな安心を、あなたに。



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
横浜支店 横浜第二支社
〒231-0005 横浜市中区本町 5-48 TEL:045-651-7485

(2017.4)